

## 朝日生命成人病研究所附属医院に通院中の患者様へ

診療記録を利用した後ろ向き観察研究への協力をお願い

研究課題	当院の糖尿病患者における肥満、サルコペニア、ダイナペニアの臨床像の解析 (倫理委員会承認番号 14801)
研究の目的 および概要	<p>厚生労働省の令和元年国民健康・栄養調査によると、「糖尿病が強く疑われる者」の割合は増加傾向で、特に高齢層でその割合が高くなっていることが報告されています。高齢化によるインスリン分泌能の低下や、サルコペニア（筋肉量および筋力の低下した状態）の関与が考えられていますが、肥満人口の増加の関与もその要因と考えられています。</p> <p>これまでに、1型糖尿病、2型糖尿病いずれも、65歳未満と比べて65歳以上の高齢者ではサルコペニアの有病率が高いことが報告されていますが、未だ明らかになっていないことも多いのが現状です。</p> <p>そこで、本研究では、当院の糖尿病患者様における肥満、サルコペニア、さらには、糖尿病で多いとされるダイナペニア（筋肉量は保たれているが筋力の低下した状態）について調査を行い、その臨床像を解析し実態を把握することで、より患者様の病態に即した診療に役立てていくことを目的としています。</p>
対象	2022年1月1日～2023年3月31日に当院で体組成を測定した糖尿病患者様
方法	本研究は朝日生命成人病研究所附属医院倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記載されている、年齢、性別、一般身体所見、体組成、血液・尿検査、糖尿病歴、既往歴、治療内容、合併症等を調査し、そのデータを用いて統計学的解析を行います。過去の診療記録を用いて行う研究ですので、該当する患者様の現在・未来の診療内容に不利益を与えることはなく、また、新たにご負担いただくことはありません。
個人情報の保護	解析にあたっては、収集した診療情報、データには新しい符号をつけ匿名化を行い、患者様と符号を結びつける対応表は、研究責任者が厳重に管理いたします。また、本研究に関わって収集された情報・データ等は、外部に漏洩することのないよう、個人情報の保護には十分注意いたします。研究結果については、個人が特定出来ない形式で、学会や論文等で発表されます。
研究者	朝日生命成人病研究所附属医院 糖尿病代謝科 小堀勤子、大西由希子、吉田洋子、田原たづ、菊池貴子、窪田哲也、高瀬暁、岩本真彦、春日雅人
利益相反	本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

本研究に関してご不明な点がある場合や、あるいは、データの使用に同意されない場合には、下記連絡先にご連絡いただけますようお願い申し上げます。また、本研究への参加をお断りになった場合にも、将来的に当院における診療・治療の面で不利益を被ることはございませんのでご安心下さい。

研究責任者：朝日生命成人病研究所附属医院糖尿病代謝科 医療連携部長 小堀勤子

住所：東京都中央区日本橋馬喰町 2-2-6

電話：03-3639-5501